

大阪ろうあ者成人学校

公益社団法人 大阪聴力障害者協会

〒540-0012 大阪市中央区谷町 5-4-13 大阪府谷町福祉センター 3 階

助成事業の概要

実施目的

聴力障害者は音声による情報を得ることができないため、現在の話題や話している内容がわからないことが多々あります。そのため、法律問題や健康、時事問題など幅広いテーマを取り上げ、専門家に依頼して、わかりやすく説明してもらい学習する場を設けています。

専門家には手話のできない健聴者が多いので、大阪府登録手話通訳者を用意して情報保障に配慮しています。また、手話を知らない聴力障害者、難聴者の情報保障のため文字通訳も用意します。会場は主に公民館などの公共施設を使用しました。

実施時期

2015 年 9 月から 11 月の間に大阪府内の 5 ブロックで月に 1 回の割合で成人学校を開催しました。

また、12 月に全体としての大学集会を開催しました。

内容

北摂ブロック

日時／開催場所／講師／テーマ／参加

10/24 / 豊中市立障害福祉センター ひまわり / 山口 良里子 / 想いを伝える遺言 相続を争族にしないための遺言書の書き方セミナー / 16 名

10/31 / 茨木市立障害福祉センター ハートフル / 松本 晶行 / ろうあ活動の今昔 / 16 名

11/12 / 吹田市 北摂聴覚障害者センター ほく

ほく / 磯野 孝 / 時事問題 / 15 名

京阪ブロック

日時／開催場所／講師／テーマ／参加

10/10 / 門真市立文化会館 / 松本 晶行 / ろうあ活動の今昔 / 20 名

11/14 / 寝屋川市にぎわい創造館 / 山口 良里子 / 想いを伝える遺言 相続を争族にしないための遺言書の書き方セミナー / 20 名

11/26 / 交野市ゆうゆうセンター / 中塚 智雄 / 時事問題 / 6 名

河内ブロック

日時／開催場所／講師／テーマ／参加

9/5 / 八尾市立障害者総合福祉センター / 荒川 夏江 / ロコモ予防について / 19 名

10/17 / 松原市民ふるさとぴあプラザ / 大江 卓司 / 時事問題 / 17 名

11/7 / 藤井寺市立福祉会館 / 山口 良里子 / 自分のことは自分で決めたい。

私らしく生きるためのエンディングノートの書き方セミナー / 20 名

泉州ブロック

日時／開催場所／講師／テーマ／参加

9/12 / 貝塚市民福祉センター / 山口 良里子 / 自分のことは自分で決めたい。

私らしく生きるためのエンディングノートの書き方セミナー / 19 名

10/15 / 和泉市 フューチャー和泉 / 川合 花怜 / スマートフォンについて / 17 名

11/14 / 岸和田市立総合福祉センター / 時岡 茂樹 / 時事問題 / 10 名

全体

日時 / 開催場所 / 講師 / テーマ / 参加

12/5 / 大阪府谷町福祉センター / 長宗 政男 / マイナンバー制度について / 197 名

事業の成果

この事業（成人学校）では手話通訳者を用意するので聴力障害者が質問しやすい環境にあり、参加者はこれまで誰に聞いたら良いのかわからなかった事や、日頃気になっていることを確認できたと思います。実際に思っていたよりも質問が多く発せられ、開催できて良かったと思っています。

特に、かつて戦時中に健聴者並の教育を受けられなかったろう高齢者にとっては、健康問題や遺言状の書き方などを身近な問題として知ることができたと思います。

12月に実施した大学集会のテーマである、10月から始まったマイナンバー制度については、200名近くの参加者があったことから、新しい制度として始まることだけは知っているが、どのようなものか詳細をはっきりとつかめてなく、制度に対して非常に不安な気持ちを持っていた聴力障害者が多かったことがわかりました。

呼びかけの方法として、表面に各ブロックで実施するテーマ・講師などの内容、裏面に会場地図といったチラシを作成して、当協会会員、会員ではない聴力障害者へ配布しました。また、各市町村福祉事務所へチラシを送付して、地域在住の聴力障害者へ周知してもらいました。他に、毎月発行している当会の機関紙「ろうあ大阪」、当会ホームページに掲載しました。

成人学校、大学集会を実施したことで、かなりの聴力障害者が知識や教養を身につけることが出来、社会参加の促進につながることができました。また、手話通訳者のほか、手話を知らない聴力障害者のために文字通訳者を用意したことで情報保障、合理的配慮を十分に果たすことができました。

成果の広報・公表

各ブロックの成人学校、12月の大学集会の様子を、毎月発行している大聴協の機関紙「ろうあ大阪」に掲載しました。

大聴協の事業局会議で、参加状況や2016年度に活かすための問題点などを話し合いました。

学習部活動の一環として、大聴協の通常総会の議案書にて報告します。

今後の展開

来年度以降も、音声による情報を得ることができない聴力障害者が、知識や教養を身につけて社会参加するために、このような成人学校、大学集会を続けていきたい。

参加者からのアンケートをもとにして、医療関係や時事問題など幅広いテーマで、2015年度と同様に開催できるようにしたいと考えています。

また、今後も手話通訳者、文字通訳者による情報保障を用意していきます。

ブロック規模では秋頃に、各ブロック月1回のペースで3回程度開催予定

全体では重要なテーマ（法律関係、福祉関係など）で年1回開催予定